

出題 螢雪ゼミナール

柳津校・寒河江智己



文系科目を指導しています。社会はただ暗記するのではなく楽しく覚えましょう！

問題【社会】

次の都道府県に共通する地方の名前を答えなさい。

- (1) 青森県、岩手県、山形県、福島県
- (2) 栃木県、群馬県、茨城県、神奈川県
- (3) 岐阜県、愛知県、新潟県、長野県

豆知識 雑学コラム

日本の地方の由来・東日本編

今回は世界の国がテーマで、世界の国名の由来を紹介しました。そこで今回は日本の地方にスポットを当てていきます。日本の地方はいろいろな区分の仕方がありますが、北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の7地方区分、もしくは中国・四国地方を分けてカウントする8地方区分が基本となります。なお、中学校の社会の授業では、7地方区分で勉強していきます。

では日本の地方の由来は何でしょうか？一つずつ見ていきましょう！1回では載せきれないので、今回は東日本編でお送りします！

まずは北海道地方。昔は蝦夷地と呼ばれていましたが、明治時代には北海道と呼ばれるようになりました。もともとは「北加伊道」という表記で、「加伊」は蝦夷地の先住民であるアイヌ民族がお互いを呼ぶときに使う「カイノ」からきていると言われていています。アイヌ民族への尊敬も込められたネーミングでしたが、政府は「加伊」の表記を認めず「海」としたそうです。ちなみに北海道だけ「道」なのは、明治時代まで使われていた五畿七道（明治からは北海道を入れた五畿八道）という行政単位の名残です。

次に東北地方です。戊辰戦争の時、五畿七道の東海道・東山道・北陸道の三つの地域に兵を送るという極秘命令の書状が朝廷から今の東北地方にあった久保田藩に届きました。その中で畿内（天皇の直轄地、都のこと）から見て三つの地域がある場所、久保田藩がある場所が東北（北東）の方角にあったことから「東北」と言う名が使われました。そして明治10年代ごろ西南戦争があった九州・四国などが「西南」と呼ばれていたのに対して、「東北」と呼ばれるようになったそうです。

関東地方は昔あった三つの関所「三関（さんげん）」よりも東にあることから名付けられました。三関とは壬申の乱の時に都を守るために作られた不破関（ふわのせき）（現在の不破郡関ヶ原町）、鈴鹿関（すずかのせき）（現在の三重県亀山市）、愛発関（あらかのせき）（現在の福井県東部辺り）の三つの関所のことです〔愛発関はのちに逢坂関（おうさかのせき）（現在の滋賀県と京都府の県境辺り）に役割が移りました〕。ちなみに関西の名も三関よりも西側であることからつけられました。

中部地方はかなり単純で、日本の中（央）部にあるという理由で暫定的に付けたものが、そのまま決まったそうです。でも分かりやすくていいですね（笑）。また、中部地方はさらに北陸地方（福井県・石川県・富山県・新潟県）、中央高地〔岐阜県北部（飛騨地方）・長野県・山梨県〕、東海地方〔岐阜県南部（美濃地方）・愛知県・静岡県〕に分けられることもおさえておきましょう。今回はここまでです。次回、西日本編をお楽しみに！！

【解答】

(1) 東北地方 (2) 関東地方 (3) 中部地方